

# 里の風愛治

令和3年2月1日発行

発行者 愛治公民館  
鬼北町大字清水  
1043番地1  
電話 0895-46-0001

第96号

季節の変わり目を迎えて

愛治公民館長 芝 弘晃



## ここに注目！

- 公民館主催事業のあれこれ
- 特集 田植えからしめ縄飾りまで
- 笑顔の愛治人 “生田のスーパーウーマン”
- 愛治ふれあい祭り写真集

## 目次

どんど焼き	1
公民館主催事業	2
特集 田植えからしめ縄飾りまで	3
愛治ふれあい祭り	4
	5
保健師が行くVol.2	6
笑顔の愛治人Vol.2	6
公民館整備事業と備品整備	7
寄付本のお礼	7
新しい図書のご案内	8

幼小期より節分は2月3日と  
思っていましたが、今年は太陽暦  
の関係で124年ぶりに2月2日  
となりました。節分は季節の変わり  
目の前日で2月3日は、早くも  
立春です。

昨年は、コロナ禍の影響で公民  
館関連行事も中止、延期、縮小を  
余儀なくされたところではありま  
すが、次頁からにも掲載がありま  
すように、地域の皆様、関係者の  
皆様のご協力により感染対策を行  
いながら、一部の行事ではありま  
すが開催する事ができました。

新しい年を迎え、1月には清水  
東中河川敷において愛治活性化集  
団来夢・母愛夢主催による愛治地  
区どんど焼きが、大型寒波の影響  
で雪が降る中、氏本宮司による  
「左義長の御祭り」が執り行わ  
れ、今年1年の無病息災、家内安

全、疫病退散を祈願していただき  
ました。

全国では非常事態宣言が出され  
ている地域もあり、県内でもコロ  
ナ感染が終息しない状況です。今  
後も感染防止対策等を構しながら  
昨年は実施できなかった「サマー  
イン愛治」を初め地域の皆様のコ  
ミュニケーションの取れる場でも  
ある地区行事・公民館行事を地  
域、関係団体の皆様のご協力、ご  
理解を得ながら計画どおりに開催  
できる事を願ってやみません。節  
分にちなみ鬼にもコロナ退散に一  
役かっただき、福は内、鬼も  
内と願いたいところです。



## 楽しいパソコン講座（前期・中期）

しばらくお休みしていたパソコン教室を8月・9月に前期、11月に中期の講座を開催しました。

前期の講座では、「自分の名札・名刺を作ろう!」ということで、講師の入船佳代子さん（三島）が作ってくださったひな形に好きなイラストや写真を入れる方法、文字の種類を変える方法などをじっくり教えていただき、受講生の皆さんの素敵な作品が完成しました。

中期の講座では、「年賀状作り」を行いました。今は便利なものが書店で販売されており、年賀状に最適な素材が収録

されているDVDをパソコンに入れ、好きな素材をコピーするととても簡単に作ることができます。そこに自分だけの工夫を足してオリジナリティあふれる作品が完成しました。



## いっぱい笑ったクリスマス会

12月18日（金）13時30分から約2時間、愛治小学校全校児童を公民館に招待しクリスマス会を行いました。

クリスマスソングを歌いながら踊ったり、手作りボウリングで遊んだり、景品をかけたビンゴ大会をしました。児童の皆さんが楽しみにしていたケーキ作りは来年度へのお楽しみに取っておくこととし、今年度は大王松のまつぼっくり

を使ったクリスマスツリーや毛糸を巻き付けたクリスマスリースづくりを楽しみました。

北の国からサンタクロースもやってきて、笑顔いっぱいの昼下がりでした。ジョージ館長も、エミール主事も、キャサリン管理人も楽しかったです(^^♪



## 伝統のしめ縄飾りづくり

12月23日（水）、公民館で愛治小学校5・6年生10名を対象に伝統の「しめ縄飾り」づくりの教室を開きました。老人クラブの各会長さんや鷲見一男さん（畔屋）に教えていただきながら、立派なしめ縄飾りが完成しました。

この日使った稲わらは、児童の皆さんが田植えし稲刈りしたもち米の稲わらを使っています。このように伝統を繋げていくには、たくさんの先輩方のお力が必要だと感じた時間でした。

児童の皆さんの自宅玄関には、家族の健康を願ってしめ縄飾りが飾られていたことと思います。



た う なわかざ  
田植えからしめ縄飾りまで

特集



昔は子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、家族総出でやっていた田植えや稲刈り。今は跡を継ぐ者が少なくなり、汗をかき泥にまみれ、自然の恵みを感じる機会が減ってきています。

愛治小学校児童 4年生から6年生を対象に“少年農作業体験学習”として、もち米の田植え・稲刈りを行っています。  
初夏、清水の末廣健さんの田んぼをお借りし、鷺見一男さん（畔屋）、西川勝利さん（生田）、芝館長の指導を受けながら、昔ながらの方法で手植えします。こ

のとき、まっすぐ植えることができるように「田植え綱」を使います。長靴では身動きが取れないので、子どもたちは裸足で田んぼに入ります。初めて体験する4年生は、ドロドロの水田に足を入れるのも、おっかなびっくり！2年目、3年目と経験を積んで作業が頼もしくなっ

汚れた足や手を近くの水路でざぶざぶ洗うと、疲れた表情に笑顔が咲きます。汗を流し大人と一緒に仕事をこの経験は何ものにも代えがたい経験です。

秋、黄色く色づいたもち米を収穫する日がやってきました。「バインダー」という農業機械でどんどん刈り取っていきます。最近の稲刈りでは、「コンバイン」で脱穀と同時に稲わらを細かく刻み田んぼに撒くことが多いので、稲わらをそのまま置いておくには、このバインダーが欠かせません。



くる5・6年生は、そんな4年生に教えてあげながら、約2時間程度で田植えを終了。



束になった稲わらを、脱穀機にかけると、袋にコメが入っていきます。脱穀した稲わらは、ヒモで縛っていきます。流れ作業でみんな頑張りました。

の皆さんと一緒に、しめ縄飾りづくり。四苦八苦しながらも地域の先輩方に手取り足取り教えてもらいながら、立派な玄關飾りができました。新年を迎える昔ながらの伝統を体験できる貴重な行事ですね。

このもち米は地域の行事で餅まきに使われたり、子どもたちが餅つきをしてお世話になっている方へ配ったりしています。

このように、もち米を作るのも、しめ縄飾りを作るのも、多くの人の手と先輩方の知識が必要です。伝統を守ることの大変さも実感します。

そして、稲わらは、芝館長の自宅できれいに乾燥され、次の出番を待ちます。

冬、地域に門松が立つ頃、乾燥させた稲わらを足踏式脱穀機にかけ整えます。

12月末、各部落老人クラブ会長



# 愛治ふれあい祭り

11月22日(日)午前9時から12時まで、愛治小学校屋内運動場で第22回愛治ふれあい祭りを開催しました。愛媛県内の情勢をみると、開催に対して心配の声も聞かれましたが、「地域住民に元気を！今、やれることをやろう！」と自治会長をはじめ、各区長の皆さま、関係者の皆さまの熱意により無事行われました。

小学校と合同開催であった例年とは大きく異なり、屋内運動場でステージ発表、作品展示、フリーマーケット、くじ引きや

喫茶など全てを詰め込んで、皆さんの顔が見える“ふれあい”祭りとなりました。地域の方が作られた物産販売コーナーでは早々に売り切れる店もあり、大盛況でした。

当日は、小学校の5、6年生女子4人による司会で進行し、児童の皆さんや先生方もたくさん参加され、とても温かくアットホームな会場でした。

最後は恒例の餅まきを屋外で行い、予定されていたプログラムは全て無事実施できました。



来年度以降も心のふれあいを大切にしたいですね。



キッズ司会者4人とっても上手に司会をしてくれました



密にならないようみんなで協力



楠先生率いる3B体操



ダンスチーム広蓮



愛治ちんどんクラブ

前日には、母愛夢さんが1俵のもち米でたくさんのもちを作ってくださいました。お疲れさまです！いつもありがとうございます(^\_^)





老人クラブ絵手紙、地元有志による絵画・手仕事展、清水保育所園児作品

小学校児童作品と愛治出身者による四国霊場版画展



お買い物をたくさんしていただきました。ご自身の得意なもの、好きなものを皆さんに知っていただく良い機会ですね。



陶芸教室作品

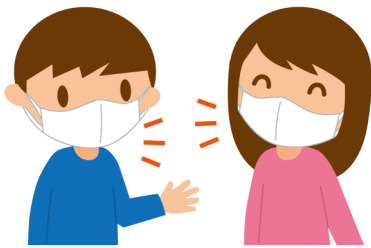


帽子展



新型コロナウイルス感染症の感染が国内で初めて確認されてから、約1年が経過しました。初めて確認されたときは、未知の感染症であり、各所で対応に右往左往していました。しかし、時間が経つにつれて感染症について多くのことが分かってきて、根拠のある対策ができるようになりました。

今ではマスクを着用することや



手指消毒などの感染予防行動は当たり前のこととなり、生活の一部として溶け込んできています。これまでは違和感を覚えていたことも、継続していけば習慣になります。手洗いや手指消毒、マスクの着用は新型コロナウイルス感染症だけではなく、季節性のインフルエンザなど、さまざまな感染症の予防にも効果的です。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後も、さまざまな感染症の予防として手洗いや手指消毒、マスクの着用などの感染予防行動はぜひ継続していただきたいことだと思います。

さて、4月に愛治地区の担当保健師になってから、はやくも

1年が経とうとしています。振り返ってみるとあっという間の1年だったように感じます。今年は例年とは違い、多くの方の生活様式が大きく変わる1年になったかと思います。今まで通りの生活に戻るにはまだまだ時間が必要になると思いますが、一日でも早く感染が終息することを祈るばかりです。



### マスク

マスクを開いて  
鼻からあごまで  
覆います

○

惜しいーあごまで  
マスクを開いてね

×

鼻が出てるよー!

×

飾りマスクは  
飾りじゃないよ

×

### 手洗い

①いつ?▷外出から帰ってきたら、食事の前、トイレのあと  
②どこを?▷手首・手のひら・手の甲・指の付け根・指先・爪の中まで洗いましょ。

コロナウイルスの感染が終息したあともたいせつなことです  
ね(^\_^)

おさらいしましょう! ~マスクのつけ方・手の洗い方~

## 笑顔の愛治人 vol.2

公民館では様々な活動が行われています。その中の1つ、「ヨガ」。

インストラクターを務めるのは、久保田加代さん(生田)。毎週月曜日10時からと19時30分から、生徒さんのインナーマッスルを鍛え、身体の歪みを改善させる日々を送られています。愛治以外にも好藤・松野町・宇和島市津島町へ毎日大忙しのようです。

皆さん、ご存知ですか?生田に新しい美容室ができたこと!訪問美容を中心に『GREEN』という屋号で出張散髪もされてるんですよ~。高齢者福祉施設にも訪問されているとか。もちろん、予約があれば店舗でも散髪できます♪着付け・ヘアメイク・美顔マッサージまで。なんでもできちゃう、スーパーウーマンですね。



かわいいお姉さん♪

## ◆◆◆公民館設備修繕工事と環境整備工事を行いました◆◆◆

愛治公民館では、地域の皆さまが快適に利用できるよう設備修繕や環境整備を行っています。

陶芸の焼き窯を設備している当公民館には、高圧受電設備という電気設備があります。安全に事故なく電気の供給を受けるために毎年定期点検を受けていますが、老朽化により改修の指摘を受け、改修工事を実施しました。



また、当公民館の窓には、網戸がなく、夜間の会議などで換気を行う際に、大量の虫が侵入し大変苦勞をしていました。このたび、『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』を活用し、一部小窓を除くすべての部屋に網戸が新設されました。

3月末までに、当公民館裏駐車場横の破損したフェンスについても安全のため修繕を行う予定です。

## ◆◆◆ウォーターサーバーをご利用ください◆◆◆

感染症拡大防止のため、当公民館玄関のウォータークーラーの使用を休止しています。

そのため、公民館で活動される方や休憩のため立ち寄られた方など地域の皆さまの水分補給のため、ウォーターサーバーを設置しています。冷たい水と温かいお湯の両方使用できますので、ご自由にご利用ください。



## ◆◆公民館まごころ銀行から◆◆

今年度、公民館運営審議会の承認を受け、愛治地区の皆さまからのご芳志である「愛治公民館まごころ銀行」から公民館環境整備用として『チェンソー』と運営用として『洗濯機』を購入しました。大切に使用させていただきます。

ありがとうございます！



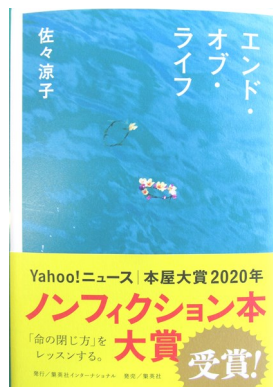
## 寄付本

今年度以下の方々から図書の寄付がありました。愛治小学校・清水保育所・優愛の里と大切に取り扱わせていただきます。ありがとうございます。  
\* 渡邊健太郎氏（渡邊正一さん（大宿）ご子息・広島県） 絵本・児童書等 197冊  
\* 沖中次氏（清水） 文庫本3冊  
\* 兵頭久眞雄氏（大宿） 文庫本1冊  
\* 水野信子氏（宇和島市三間町） 現代世界美術全集 25巻（順不同）



またこれまでも地域の方から多くの図書の寄付をいただいていますこと改めてお礼申し上げます。

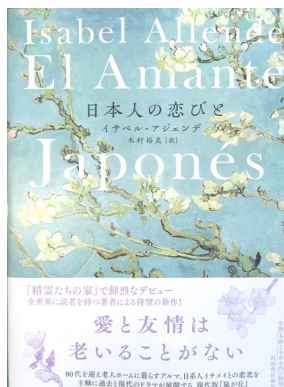
新しい図書のご案内 愛治公民館で新たに購入した本をご紹介します



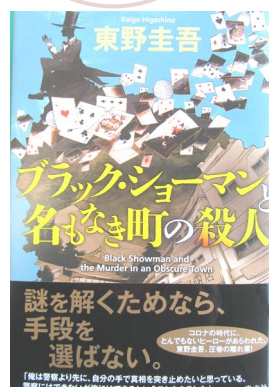
エンド・オブ・ライフ 終末期のあり方を考えるノンフィクション。



きのうのオレンジ 「弱音を吐かない人は、いつだってひとりで闘っている」心揺さぶられる感動長編。



日本人の恋びと 毎週届くクチナシの花、黄色い封筒に入った手紙、お忍びの小旅行…生涯の愛とは？



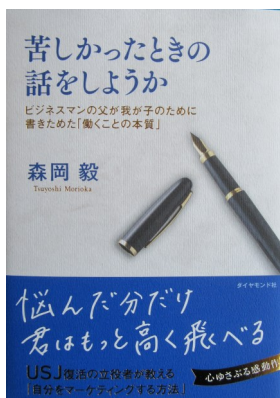
ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 犯人と探偵役の知恵と仕掛け！騙されるな。



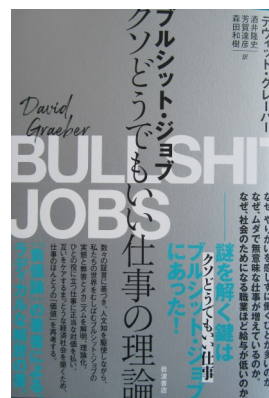
この気持ちもいつか忘れる 「分からないよ、人の心の中なんて、だから、聞かせて」初めの恋愛長篇！



お父さんはチューバー 宮古島の自然とゲストハウスに集う人々を通じて描く家族小説。



苦しかったときの話をしようか 後半の怒涛の展開で激しい感動に巻き込む10年に1冊の傑作ビジネス書！



クソどうでもいい仕事の理論 やりがいのない仕事、無駄な労働、役に立つ仕事の低賃金…。今読まねば。

定期的に新しい本を購入しています。ご希望の図書がありましたら、愛治公民館までご連絡ください。



ホームページを更新しました。覗いてみてください。最新情報をお届けできるよう随時更新予定です。

編集後記

あっという間に時間が過ぎていき、令和2年度も残りわずか。毎年行ってきたことができずさみしい1年でもありました。いつもと違うことができた1年でもあったように思います。

昭和50年生まれのは、昨年の節分から「八方ふさがり」の年回りに入り、大きな変化を望まず、おとなしく静かに過ごすような偉い和尚さんから教わっていました。そんな中で公民館への職場異動でしたので、何事も起こらなければいけないけど、と少々心配していました。振り返ってみると、吉凶もさほどなく、今のところ平穏な日々。

平穏と言いつながら、間違いなく今年度ほど通常の事業ができない、「いつもと違う日常」はなかったでしょう。できないから「暇」ということもなく、「あれしたらどう？」「これしたらどう？」と各所から提案をいただきながら、愛治地区の皆さんと今だからできることを経験させていたいただきました。

私たちの人生は浮き沈みの連続です。どこへ行っても幸せなことしか起こらない時もあるけれど、どこまでも深い闇に落ちることも。大切なことは、どんな時も自分がいる場所を分かってくることのよう思っています。そうすれば身の置き方が分かりますから。